

2月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	淀川中流左岸 木屋元地区～枚方大橋		
モニター実施日時	令和二年2月20日(木) 8時～9時 令和二年2月24日(月) 16時～17時		
天候	晴天		
(見出し) 今月は淀川左岸の木屋元地区～枚方地区についてモニターしました。			
<p>寒さが厳しい日もあれば、春のような陽気に包まれる日もある2月。日中を中心にランニングやサイクリングに勤しむ方がいらっしやいました。</p> <p>今月は木屋元地区を重点的にレポート致します。木屋地震計局舎や太間水門、淀川距離標等、普段目にしていないものの意識はしてこなかったものをじっくり見て回りました。地震計局舎は地震を検知するもの、太間水門は水害の際に塞ぎ止めたりするものでしょうか。市民の生活を守る役割を果たしていることがよくわかる設備が配置されています。地震計局舎には落書きがされていました。</p>			
			
<p>24日は祝日ということもあり、駐車場に30台近く駐車されていました。賑わいをみせていることは良いですが、ゴミが散見されました。利用者はマナーの向上を遵守してもらいたいです。</p>			



(意見・感想・処置等)

二月のレポートありがとうございます。

今年は新型コロナウイルス感染症が大流行する兆しをみせています、体調管理には充分留意してください。

木屋地震計局舎は兵庫県南部地震を契機に防災体制強化の一環として管内の地震活動を監視するシステムとして整備した施設のなかの一つです。

ネットワークは光通信網を利用した最新鋭の観測システムです。

管内で発生した地震動を観測し、その結果は光ケーブルを利用して迅速に伝達されます。

伝達されたデータは、収集・処理装置で解析され、防災活動に利用されます。

このように重要な役割を担っている施設にあのような落書きはひどいですよね。

落書きは犯罪です、やめていただきたいものです。

太間水門は寝屋川導水路から寝屋川へとつながっています。

寝屋川流域は周りを高い土地で囲まれており、水の流れが悪いことから昭和30年代からの都市化により水質が大きく悪化して問題となっていました。

その対策のひとつとして淀川本川の流量に余裕がある場合、太間水門を通して淀川から取水した河川水を、寝屋川導水路経由で寝屋川に流入させて河川の浄化を行っています。

寝屋川導水路は淀川左岸の木屋元町から寝屋川右岸の桜木町の間約1.7キロメートルに新たに建設された人工の河川なのです。

大雨の時には、水門の操作により寝屋川上流域の洪水を太間排水機場までへ導く役割をはたしています。

それでは三月のレポートをお待ちしております。

08hir 豎モニ夕一【淀川】